

第1回 施設整備部会 議事録

(1) 日 時：令和8年7月9日（木）午後7時より、（教育会館 第2研修室）

(2) 参加者：委員（6名）欠席2名、事務局8名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議報告事項

(1) 工事の進捗状況について

① 勝山中学校校舎等建設工事について

② 地下横断歩道建設工事について

③ デジタルサイネージについて

④ マイナンバーカードについて

(2) 備品精査について

(3) 学校の歴史等の継承について

③ その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議報告事項》

（工事の進捗状況について）

部会長 ・ レジメに従って会を進めたいと思う。まず工事の進捗状況について、新中学校校舎建設工事と地下横断歩道工事について、さらにデジタルサイネージ、マイナンバーカードという新しい議題も出てきているので、それについて一括して事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ・ それでは私の方からは、資料1をご覧ください。最初に勝山中学校校舎の建設現場の現在の7月に入っている状況になる。左上が①として、平屋建ての給食室棟の鉄骨の建て方ということで、左下にコンクリートが少し見えているが、これが地下横断歩道が国道から伸びてきている状況で、その延長上に屋根付きの渡り廊下が出来て、その左側、白と黄色のクレーンの下が鉄骨の給食室棟を7月に入って立ち上げて、現在進めている状況である。その右側は校舎の方のちょうど2階の東西に長い校舎だが、真ん中ほどの鉄筋を結束したり、コンクリートを打設している工事の状況である。左下③は1階の校舎の主に北側というか、徒歩通学の生徒が、登下校時に通る1階の通路の状況になる。柱みたいなものがあるのは、コンクリートを支えて養生している状況で、そういうのも形が出てきている状況である。④は左側が勝山高校の工事の足場とネット、右側が新中学校の間のエリアで、先ほど見ていただいたのは緑側の部分の1階の部分が③の状況ということで、1階、2階と順番にコンクリートを打設している状況である。続いて1ページめくっていただくと、今度は地下横断歩道の建設工事の施工状況になる。左上①は先ほど申し上げたが、ボックスカルバートというコンクリートの構造物を据え付けた勝高側の状況である。矢印で奥が勝高側、左手が大野側、右手が福井側ということになる。その右側②が現在のボックスカルバートの据付けの状況である。男性の方が2名立っているが、持っている横に長い計測するスタッフというが、これは5mのものになる。さらにその横に余幅があって内寸とすると6mある。高さもボックスとすると3mの高さがあるので、今後内装をしていって幅5.5m、高さは3mを切る状況の地下横断歩道を、圧迫感のな

いような空間として、設えをして仕上げていく状況である。そして左下③は、国道のこのボックスカルバートと繋ぐジオアリーナはコンクリートを打設して作る場所になるので、その状況になる。その右側がその内空、内側の状況で、コンクリートを打設して、「支保工」と言うが、それで型枠を支えている状況である。今後は三番目の奥から、階段の登ってくる状況のコンクリートの打設が引き続き行われていく状況である。資料と1と2は以上になる。

(デジタルサイネージとマイナンバーカードについて)

事務局 ・続いて、資料3の説明をさせていただく。地下横断歩道建設工事の方で、5月にこの内装工事についての契約ができて、その中で、地下横断歩道の中の設えを整えていくものだが、以前教育長の方からも準備委員会の方でこのようなイメージで考えているという説明はあったと思う。今このように地下横断歩道の一部、およそ12mの区間になるかと思うが、こういった壁面を活用したデジタルサイネージで、ITの推進をしていきたいと考えている。この映像については、生徒が作ったものや、動画といったものを流せるような、システムを組もうと思っており、生徒や外部から来られた方が、勝山や中学校の魅力を感じられるようなものにしていきたいと考えている。全体ではないが、このような区間が一部できるということになる。続いて、マイナンバーカードについてだが、こちらにも実は内装工事の方で、このようなことができるかどうかといろいろ検討していたが、見込みがたって契約もでき、こちらにもオープンな情報にさせていただいた。マイナンバーカードの活用は何をするのか、なぜこんなことをするのかというところだが、デジタル化が進んでいく中で、文科省の方についても、学校教育におけるマイナンバーカードの活用についてガイドラインを出しており、国はマイナンバーカードの携帯とを進めているような状況である。そういったことを鑑みて、中学生のうちからマイナンバーカードを常に携帯することを身につけていただくということで、学校にマイナンバーカードを使ったシステムを設置することで考えている。資料を見ていただくと、目的の一つ、これが一番大きい、マイナ救急による安全確保で、こちらの方は昨年度から勝山市の方も取り入れていて、マイナンバーカードを持っていれば、救急で救急車が到着した時に、隊員がその人の病歴や薬の状況など、重要な情報が正確に把握できるということで、市としても生徒の命を守るために、何かあった時に対応できるように、マイナンバーカードを活用したいと考えている。一枚めくっていただくともう一つの目的がデジタル社会に慣れ親しむというところで、そちらのイメージにもあるかと思うが、日常的に活用いただいて、今の社会はこういう社会なんだというのを体験していただきたい。デジタル市民への成長ということで、高度情報化の社会に慣れ親しんでいただけたらと考えている。もう一枚めくっていただくと、どのように使うのかというところだが、設計で考えているのが、スムーズな登校確認ということで、中学生の生徒玄関や、地下通路のセキュリティで使うのだが、ICカードリーダーを準備していて、そちらにタッチするだけで、生徒の登校が確認されて地下横断歩道のゲートが開くというものである。二つ目まで地下通路の安全確保ということで、セキュリティの対応になっている。三つ目がメディアセンターの図書の貸出カードと

して利用したいと考えている。もう一枚めくっていただくと、やはり一番心配されるのはカードの紛失というところかと思う。紛失した際のマニュアル等を作成して、教員や生徒がすぐに対応できるようにしたいと考えている。また、カードの中に個人情報が入っているわけではないので、適切に対応すれば個人情報が流出するようなことはない。もしなくなって再発行になった時は、その費用については保護者の負担とならないようにしていきたいと考えている。次がQ&Aになる。なぜ持っていないといけないのかということと、マイナンバーカードを持っていないと学校に通えないのかという意見もあると思うが、マイナンバーカードの取得はあくまでも任意なので、持っていないと学校に入れないというわけではない。こちらも強制するものではないが、こういった教育的なところに、保護者の理解をいただかなくては行けないが、緊急時のマイナ救急への対応ということでご理解いただけたらと考えている。あとはやはり紛失という面で持ち歩いて無くすのではないかとということがあるが、入学時にカードケースを送らせていただいて、そういったことが減るようなことを考えていきたいと思っている。カードを忘れた生徒はどうなるのかということだが、このシステムの判定だけで欠席なのかということでは全くないので、そうした場合でも柔軟にサポートしていきたいと考えている。セキュリティや個人情報の流出が心配というところでは、ICチップの中に、医療情報や税情報や年金情報というプライバシー性の高い個人情報が入っているわけではなくて、あくまでも通信する際の本人確認という形で使われているので、落としたから個人情報が流通するというものではないということはこちらも保護者と先生方も含めて、説明はしていきたいと思っている。マイナンバーカードについては、今後、市P連の方で保護者のご理解をいただくのが一番と思っており、まず、市P連の方と役員会とか、そのような場で説明をさせていただいて、ご理解をいただき、進めていきたいと考えている。説明については以上である。

- 部会長 ・議論の方に移っていききたいと思うが、大きく工事状況の方と、デジタルサイネージとマイナンバーカードの方に、議論を分けてしていきたいと思う。まず工事状況について何か質問や意見があるか。
- 委員1 ・工事状況だが、完成が確か3月半ば頃だったか。
- 事務局 ・工期は令和9年の3月12日になる。
- 委員2 ・それ以降に物品の移動をするのか。
- 事務局 ・3月12日を完成としているが、一部、例えば仮設の高校側の玄関も使用できるし、新しくできる中学校の西側の入り口の方は、その前に仮に開放できるような計画も立てている。一部備品等でも、3月12日を待たずに入れられるものについては入れさせていただいて、最後完成を迎えるような手順を取りたいとは考えているので、全てが3月12日が終わってからものが動くという形ではないように進めていきたいと考えている。
- 委員3 ・3中学校も閉校になってくると思うが、備品のことを私が詳しく知らないだけなのかもしれないが、中学校から移動するものは何かあるのか。特に何もないのか。
- 事務局 ・後ほども言うが、新しく買うものもあるし、当然現在3中で使っていたものも、別に傷んでいるわけではないので、それを持っていく。両方ある。

委員 4	・とりあえず、生徒には別に何も支障のない形になるのか。生徒もまだ3中学校にいる。
事務局	・今事前にという話もあったが、それは授業の支障のないようにということはある。
委員 5	・他のPTA会長さんとかも、周りの保護者から今作っているところを見て、本当に3月に完成するのだろうかという声がある。僕らはこうやって建設的に参加している身なので、大丈夫ですよと市の方から聞いているということ返事をしている。念のための確認をした。いろいろなことを聞かれるので、少しでも対応できるといいかなと思う。
委員 6	・マイナンバーカードのことだが…。
部会長	・それは少し議論を分けたいなと思っている。多分マイナンバーカードも結構いろいろ議論が出てくるかと思ったので、まず工事を話してからしようと思っている。工事に関してはよろしいか。建前上聞くが、遅れみたいなのところの確認だが、材料の発注状況や仕上げ、搬入が遅れてきたりなど、そういった状況はどのぐらい生じているのか。
事務局	・月に二回、定例会議と言って、我々と設計管理者と受注者、工事施工者と会議をしている。その中で中東情勢の影響が少なからずはあるという話も、以前からも話はあったが、その辺の情報共有もしている中で、現時点では今中学校の発注しようとしている部材等では遅れるということはないと聞いている。ただ、今後の世界情勢も分からないが、その辺も含めて様々な情報があつた場合はすぐに情報の共有をして進めていく。全体の会議の中でもそのような話になっている。
委員 7	・今ニュースでも材料に関して、またニュースだけでなく、建築関係の方からもそのような話は聞いたりする。これはもう、学校の建設にも少なからずゼロではないのだろうなと思っはいるが、もしも、あまり考えたくないが、発注が少しちよつとずれるようなことがあつた場合、それでも3月に間に合わせていただく形は、僕らも願っていることなので、そこは安心していい。
事務局	・その会議において、我々から間に合うのかと聞いたわけではないが、受注者の方から、発言があつて、今いろいろな噂もあるが、この現場は今のところ間に合いますという発言をいただいた。ただ、今後、冬の雪の状況もあるので、そういったことはまた今後少なからず影響も出てくるかもしれないが、現時点では、3月12日の完成には間に合うという、向こうからそういう発言をいただいて、我々も少しほっとしてはいるが、今後ともしっかりと情報や共有など、また工程の会議もしっかり詰めて、安全第一に進めていきたいと思っているので、よろしく願ひしたい。
部会長	・一番の写真から見ると、3階の途中まで打設されているということか。
事務局	・2階と3階の一部も着手はしている。並行していろんな工程をラップさせながら業者も工期短縮に努めていただいている。
部会長	・工事については他に意見はよろしいか。では次にデジタルサイネージとマイナンバーカードの議論に移りたいと思う。
委員 8	・素朴に思つたことだが、3ページにはそのカードを持った生徒・教職員しか開けられないと書いてあるし、Q&Aの5番にはマイナンバーカードの取得

	は任意であり、持っていないと学校に入れないわけではないと書いてある。どうということかと思ったが、カードがなくても入れるということか。
事務局	・基本的には自動ドアがあって、その真ん中に IC カードリーダーが設置されるが、マイナンバーカードをそこにかざすと、開くというものになっている。もし忘れたらどうするかというところだが、実はテンキーがついているタイプのカードリーダーにしている、その運用もいろいろ考えていけないといけないが、生徒一人一人に暗証番号を渡すということもできるので、自分のコードを打って入るということもできるし、入るだけなら、誰かがかざした後、勝手に入っていくことはできる。全く入れないというわけではない。やはりどうしてもマイナンバーカードを持ちたくないという方の話も聞くので、その時は別途いろいろ考えなくてはいけないと思っている。
委員 9	・今の説明だと、カードをかざす機械は一台か。
事務局	・地下横断歩道については入口側、出口側があるが、そこに一台ずつ設置されている。基本的にはパッとかがせばすぐ反応するというもので、出欠の確認で考えているところかというと、開いてはいるけど、その登録は順番にかざしていくということになるかと思う。生徒玄関にも 2 か所、IC カードリーダーの設置を予定しているので、どこかで察知できればいい。一つかざしても、1、2 秒で反応するようなものなので、そこまで時間はかからないかと考えている。
委員 10	・今言われたように忘れた子がテンキーで暗証番号などを入れるとなると、結局またそこで詰まるのではないか。その辺の一気にバスで来た子ども達の人数とか最初のうちだけかもしれないが、要領の悪さ、カードケースをいただいたとしても上手く出せないとか、都会の子ではないので本当にできるまで時間がかかるような気もするし、スムーズな入室というとおかしいが、地下通路に入れないと、ばたつくその時間の無駄が、すごく学校の生徒の動きを知っている私たちにすると、無駄な時間が生まれるという気がしてならない。
事務局	・言われていることもよく分かるが、こちらの方としても、いろいろ考えているところはある。携帯してほしいというところがあり、そこに意味を持たせたいということもあって、こういったことを考えている。1 回やってみないとわからない部分もあるかなと思うので、できるだけスムーズになるような運用で考えていきたいと思っている。
委員 11	・マイナ救急のことも大変よく分かる。何かあった時に、保護者の方に連絡を取らなくても、カードできちんと救急車で分かるというのも、ビッグデータのことも、すごく大切なことだと思うが、絶対に作らなかったお子さん達がいるとか、個人個人の差も何か扱いが変わってしまうのかと後から感じるのではないかと。保護者の立場としたらなぜもっと推してくれなかったのかとか、そういうことも出てくるのかという気もする。それだったら学校の学生証というか、身分証明書として IC チップで、登校も全部管理できるようなものを作っていただいて、マイナンバーカードではないものを持ってきて、図書などにも使うとか、そういったようなものの方が不公平さは出てこない気がする。
事務局	・私どもとしては、生徒の安全を守りたいということで、マイナンバーカー

	ドを携帯してほしいと考えているので、それが別のものに変わったとすると、そこの目的はなくなってしまうのかなと思う。そこは市としても、中学生だけのことではなくて、一般の市民の方にも持ち歩いてほしいということで、いろいろな施策を進めているところである。私たちとしては市の方針の一旦の部分として、中学生の利用を進めたいと考えている。
部会長	・多分皆さんは、マイナンバーカードがこれで決まると、皆さんに同意を受けてもらうような立場になると思うので、いろいろ質問もあると思うので、ぜひ意見をお願いしたい。いろいろ多分考えがあると思う。
委員 12	・ちょっと言葉が過ぎるかもしれないが、これはもう決定なのか。もう動かないのか。戻れないのか。
事務局	・これはうちの方針として今進めていこうと思っているところだ。
委員 13	・この会で反対がたくさん出たら取りやめになるか。
事務局	・今ここで反対されたからといって、この方針を取りやめるというようなことは今は考えてはいない。
委員 14	・私の個人的な意見かもしれないが、基本的には賛成しかねる。なぜかという と、マイナンバーカードは、今の中学生が全員持っているかというを持っていない。半分以上は持っている子もいるが、まだ登録とかをしていないし、医療の紐付けもされていない。ただ、この間修学旅行に行った時は、サイトからアップロードして何とか証明書とか、市から送られてきたものとか、全部それを持って修学旅行に行ったという現状はある。マイナ救急の話が出たが、現在は小中学校全て、どんな薬を飲んでいるかとか、どんな持病があるかを全部緊急連絡票に書いてもらって、対応ができるように養護教諭が持っているので、そこのところは必要がないと思う。また導入の際には保護者が持たせるものなので、必ず保護者の同意というか、保護者の意見を聞いてほしいなと思う。出欠の確認の話をされたが、現在はC4thで親が休みますという出欠の確認の一覧と、担任が実際に教室に行っている。プラスどんな様子で今日来ているのかなという顔色も含めて、健康観察もし、出欠を取っている。だからこの出欠確認は必要ない。マイナンバーカードが任意のものである。もう一つは悪用はされないという話も結構言われていたが、実際にこのマイナンバーカードの写真とかで偽造したという事例もある。ゼロとは言えない。もちろんマイナンバーカードはどんどん広まっているので、学校で情報の時間とか、セキュリティのことで指導は当然しないといけないと思うが、実際物を持ってきているというところがある。まだ大人も持っているかといったらそうでもない中で、中学生に持たせるが、一緒に通ってくる高校生は持っていない。高校生も持ってくるのか。
事務局	・お願いはしようと思っている。
委員 15	・中高の連携というか、全部するのならと思うが、まだその段階ではないかなと思うので、今言ったように言葉が悪かったが、私は賛成しかねる。
事務局	・いろいろ意見が出るというのは、こちらも理解はしている。マイナ救急のことと言われたが、そういった情報は既に学校で集めているということは、こちらも理解はしているが、消防の方に聞くと、やはり現場対応というのが一番大事ということを言われていて、一番新しいデータというのは、先生方が持っているデータではなくて、マイナンバーカードに入っているデータが一

番新しいと思うので、マイナンバーカードを持っていた方が、いいのかというところはある。出欠のことも含めて、これを持ってくるだけで生徒が大変で、先生も大変になるようなことはないようにしたいと思っている。今これで学校でやっていくこと全てとは思っていないので、今後いろいろ活用を考えていく中で、そうしたシステムをまずは入れたいというところで、こういったことを進めている。やはり保護者の理解が一番だと思うので、こちらとしても説明をしっかりとさせていただきたいと思う。

委員 16 ・ P T A 部会の方でも参加させてもらって、マイナンバーカードの説明を受けた。その時に母親の立場で言われていたが、知らない方もいるかなと思って言う。一応その方からはやはりマイナンバーカードを持っていない方もいるので、どうするのかという質問も実際あった。生徒手帳でというのはダメなのかというような意見も出た。そうするのかどうかは学校との相談になると思うが、一部お母さんとしての意見であったので、一応伝える。全くないわけではなく、そういう現状もある。今、言われたように、保護者との説明や理解は大事になると思っている。学校の先生からの意見も聞いていただきたいが、保護者の方とどうやってやっていこうかというのが、課題でもあるのかと思っているので、意見を聞いていると、なるほどということもあるし、なかなか僕ら自身も板挟みになるのかなという形だが、マイナ救急にしても、これは僕自身いいなとは思っている。本当に命は救ってもらわないといけない。先ほどなぜそのことをもっと推してくれなかったのかとか、確かにそれを言われてしまうと後悔の念も出てくるしなかなか難しい。勝高生は確かに持っていないし、中高とも一緒にやっていくということがあれば、本当にせざるを得ないというか、高校生もしているのならみたいな感じの考えも出てくるかとは思いう。現状はまだそこまでにはなっていないので、協力したいと思うが、何かヒントをもらえたらいいなと思っている。

委員 17 ・ 先週話をうかがってから、自分なりに調べた。全国にマイナンバーカードの利用や携行を義務付けている学校があるか。僕の検索能力では一件も引っかけなかった。実際リーダーを販売している会社があるということは実例があるのかなと。その会社から利点であったり、起きた混乱であったり、もしも運用実績が何ヶ月とか長期に渡るのであれば、その結果はそんなことは杞憂だったというようなことを示していただけると、自分では調べられなかった、行きつけなかったのでありがたいと思う。実際、僕らは学校生活の場面をリアルに想像しながら考えているので、これを実践するとなった場合、初期には運用の困難、長期的には保護者の対応による混乱、いくつかやっていけないといけないことになるかと単純に心配する。

部会長 ・ ちなみに、マイナンバーカードを使われている学校はあるだろうか。
事務局 ・ このマイナンバーカードを学校で利用しているというところは恐らくないと思う。今のシステムを入れているところも、公共施設の使用の際に、マイナンバーカードをかざして施設予約で活用しているものがある。よくあるのは職員の出勤とかで活用していたりというところがあって、市として、取り組んでいるところを参考にいただいて、今のこうしたシステムを紹介させていただいた。

部会長 ・ 現場の中での意見は多々あると思うが、資料の説明の突っ込みをさせてい

ただいてもよろしいか。まず、この4と書いてあるなぜマイナンバーカードを利用するのかということところだが、カード自体に個人情報が入っていないのでということだが、先ほど後半で出てきた IC チップの中にはということになる。カードには個人情報は、写真や氏名がある。その辺りは突っ込まれると思うので、修正をお願いします。

部会長 ・個人的な意見としては、なぜ学校でマイナンバーカードを利用するのかという2番だが、生成AIで作られたようなイラストなのだが、いかにもというもっともらしい理由をつけているなという印象しか抱かなくて、勝山市の思いとしては、市民の方にマイナンバーカードを持ってほしいということだ。そこをリアルに素直に伝えた方が何か変に最もらしい利用をつけるよりはいいのではないかと思った。想像なのだが、先生方にまず持ってもらわないといけなのではないか。生徒に持たせるためには教員としても持っていないと生徒からすごく文句を言われる。先生方に持たせるのがハードルが高そうだなと思うので、決定事項ということで、あまりこの施設整備部会での意見というのは、重みが少ないかもしれないが、時期も含め、もう少し段階を持った方が摩擦が少ないのかなと思った。その辺りのなぜ今やらなくてはいけないのかという意見はあるか。

事務局 ・実際、今年度からもマイナンバーカードを持っていると、温泉水芭蕉があるが、入浴料に補助がついたりというところがある。今後いろいろ考えられているのは、観光客のバス使用料は高くするというところで、市民と観光客を区別するというところで、マイナンバーカードを活用しようとしている。市として、全体的に推し進めようとしているところで、中学生にしてもやっていきたいというところでこういった話が出てきている。

部会長 ・今やる必要があるという意見はあるか。全体的に方針としてはわかるのだが、このタイミングで必要か。開校して3年後に、例えば市民の皆さんが50%ぐらいマイナンバーカードの取得率が達成できたら移行しようとか、何か政治的な計画があるのか。

事務局 ・マイナンバーカードを保有率に見ると、もう95%以上は持っておられる。先ほど言った紐付けというところはまだの方もおられるかもしれない。公金利用で応援金115をやっていて本人の紐付いた口座に振り込むというようなこともしているし、そういったところでは、市としてもマイナンバーカードの推進も過去からやってきた。今のタイミングと言われるかもしれないが、市としてはどんどん進めていきたいというところである。

部会長 ・そういう市の意向があるということだがいかがか。

委員 18 ・新しいことをするのに、かなりの労力というか、いろんな馬力が欲しくなるのだろうというのはつくづく思っていて、マイナンバーのメリットもあるし、先生方からの意見を聞いて、デメリットも含めいろいろ考えないといけないこともある。言われたように時期的なものもあるのだったら、それに則ってあくまで建設的にいきたいという思いはある。先生方も全くではなくて、本当に吟味して行けることであれば、全く最初から反対というよりも、本当に子ども達のことを思いながら現状も言っていて、そこに負担も勝山市の現状も把握されている先生方なので、なるほどなというのもあってこの会があると思う。こういう話し合いを通じて、伝えていけることは伝え

	ていきたいと思っている。いいなという方もいれば、少し難しいのではないかなという意見も正直出てくるかと思っている。いろいろな意見が多分今から出てくると思うので、P T Aの方から出てきたら、それに対してどういうふうに答えたらいいのかというか、保護者が安心できる答えを持って帰りたいということもあるし、もう一つは市が先生方と協議しながら、先生方の納得がないとなかなか難しいだろう。前回の時もそうだが、今日は自分が一人しかいなくて、学校の先生ばかりなので、伝わってくるなという感じだ。
委員 19	・これを読むと、マイナンバーカードが必要だと分かりながらも、マイナンバーカードが別になくても、学校に入れるとか分かってしまえば、実際に学校を持ってくる割合はどうなるのかなと思う。マイナンバーカードが圧倒的多数になるのかと思いながら、二通りあるのは、学校だけで管理する上で何かと都合が悪いのではないかな。持っている子と持っていない子がいるという状況がある中で、例えば出欠管理したりとか、マイナ救急が使えない子がいたりとか、そういう管理上、不自由なことが多いかと思うので、先ほど言ったように生徒手帳とか身分証明書だったら、全員が持つのに何かと管理しやすいだろう。持つ子と持たない子がいるという状況が非常に学校として困るのではないかな。
部会長	・他の部会でもこういうマイナンバーカードの議論をされたと思うが、その部会の反応みたいところはあったのか。
事務局	・P T A部会の方で話をさせていただいたが、P T A部会では特にそこまで反対ということではなかった。ただ、先生方は運用の面で厳しいというところの指摘はあった。そういった意見は聞いている。
委員 20	・カードにしていない方とかはどうしたらいいのか、それに対しての対応が保護者が納得できるものがあればという話なので、それがまだないので不安だという声はあったが、全部やめてほしいというようなことはなかった。
部会長	・システム上で教えて欲しいが、先ほど忘れた場合には、他の方のマイナンバーをかざして開けることで、入っていいと言っていたが、それだと出欠管理はできないのではないかなと思った。出席確認用のカードリーダーがどこかにあるということか。
事務局	・その場合は暗証番号を入れていただくという形になる。
部会長	・例えば集団で入った時に、僕が開けてあげるよと言ってピーとやって全員入れるではないか。それを全部暗証番号を打つのは無理になる。だから、出席管理で使おうとしたら、教室とかにそういうリーダーがないと、そもそもできないという話になる。
事務局	・教室までの設置は考えていなくて、あくまでも地下横断歩道の出入口と生徒玄関の2台。
部会長	・その形になれば出席管理で使うという論理がおかしくなると思う。集団で入れるし、先ほどもそういう説明をされたので、そうすると、一人が開いて閉じるのを待って、また一人入ってという…。
事務局	・忘れた場合は少し違うが、カード自体は開いている状態でも反応はずっとしていく。
部会長	・生徒さんが律儀に全部やるとは思わない方がいい。そこの部分を抜けても、担任の先生が朝の会でしていただけるのだろう。そうなってくると多分そう

	いうのはどんどんおかしくなってくるのではないかと思うので、説明の時にはそういうところの説明はしない方がいいのではないかな。突っ込まれるところをあえて増やしている状況になる。
事務局 委員 21	・説明の仕方はいろいろ考えていきたいと思う。 ・先ほど言ってくださった、少し様子を見ながら運用してはどうかという意見と、よく似ているかもしれないが、前にうかがった時、通路のところに先生が立つ必要はなくなるというような話がちらっとどこかで出たような気がするが、慣れていない生徒がそこをスムーズに通過してくるかどうかということを考えると、教員の嵯峨としてはやはり立つ。それに誰かがかざしているうちに、さっさと入ってしまう子がいるかもしれないと思うと、やはりそこで立って見ているというのが、学校かなと思う。先ほど、教員が先に持つてするほうが「持つてるよ、こういうふうにやってくよ」というのを、生徒は脇から入っていくけど、先生は必ずしばらくの間はカードリーダーでタッチしながら入っていくというのを見ながら、「こうやってやっていくんだな」とか、当然都会に行っている子は電車に乗るのもやっていると思うが、何かそういう子ども達の間も体も慣れるような期間もあった方が、ここでスタートしようと言った時にスムーズに流れていくという思いが湧いてきたものもある。マイナ救急の場合には、学校だけの健康観察ではなくて、どこかで事故に遭った時というのは、携帯していればそこで救急搬送される場合にきちんとした情報があって、輸血の対応だったりとか、既往症だとか、薬のことだとか、そういう対応が早くなるからいいということであれば。バスでも事故なども考えると、携帯していた方がより良いという認識は私はある。ただ、やはりスタートするのに学校の今の子ども達の様子を見ていると不安はあるし、保護者の方も私たちよりも数多くの方が持つて学校に行っているということが推しに入ることも多いのではないかな。
事務局	・こちらもいろいろ保護者の方とか、先生方とも話をしていけないといけないと思うし、言われるように始めるタイミングというのは、また考えていく必要もあるかなと思う。ただ準備としてはさせていただくというような形で進めるか、そのところは内部でもよく話し合わせていただきたいと思います。
事務局 委員 22	・ちなみに先生方はマイナンバーカードは携帯しているのか。 ・私はしている。
委員 23	・していない。
委員 24	・全員持つてはいる。市で話が合ったので。
事務局	・私は病院に行く回数が多いので、ずっといつも携帯のここに入れていて、自分で持つてるのが当たり前になってきている。今話を聞いていると、子どももそうだが、大人の人が携帯するということに意識的に慣れていないのかなと思う。
委員 25	・いつも財布の中にある。職業がらになる。
事務局	・基本的に市としてはやはりそういうことを推進していきたいし、今年修学旅行に行かせていただいたが、やはりその中の情報を取るというのはすごい手間、慣れていけば子ども達にこれを持たせて、何かあった時という社会になってくれたらいいというのは保護者としても思っているの、前向きにそういったことを進めていけたらと思う。いろいろ意見を言っただけ

	たらと思うで、どうかよろしくお願ひしたい。
委員 26	・全国に中学校は1万校ぐらいあるはずだ。そのうち実践している学校がないということは現状ではメリットがないのではないかと感じる。ただ何事も最初にやる学校があるのではないかと問われれば、それはそうである。例えば、紛失しても学校では再発行できない。多要素すぎて難しいと思う。自分も普段は携行していない。病院には行かない。
委員 27	・先ほど少し尖った意見をたくさん言ったが、マイナンバーカードを子ども達が持っているというメリットがあつてマイナー救急とかは分かる。今から持つ時代というのわかる。これも明日明後日の話ではなくて、少し先の未来を考えると、そういうのが必要だなと思う。学校にも持つてくるといいよというのは結構言える。言えるというとおかしいが保護者にもそういう言い方はできるかなと思う。そこと入口のセキュリティとは別ではないかという思いがある。入口のセキュリティにマイナンバーカードを使う。そこに多くのお金をかけるという、そのシステムを構築するというのと、今マイナンバーカードのメリットを子ども達が慣れ親しむと言い方をされたが、それも含めてマイナンバーカードのメリットを共有するというのが少し違うのではないか。別で考えていただけるといい。マイナンバーカードを持っていることで何か必要なことが、この中であるというのが欲しいかなと思った。
事務局	・私どもも学校にマイナンバーカードを持つていくと、こんないいことがあるというところを一生懸命探しているところで、一番は携行率を上げたいというところもあるが、そうなっていくような取り組みはこちらもいろいろ考えていきたいとは思ふ。そういったことも新しく出てくれば、後々対応していくということもしたいとは思っているので常にそういったことは考えていきたいと思う。
部会長	・デジタルサイネージの方の意見はどうか。いろんな情報が地下道の方にあげることができるみたいだが、口火を切つていいか。このパーツのスケール感が少しおかしいのではないか。広すぎないかということで、この②の、ジオアリーナのボックスカルバートの据付という2人が立っている写真と見比べたら非常に大きいと思つた。これが両側にあると結構うるさくなくなつたので、このパーツのスケール感を修正した方がいいのではないかと思つた。これは明らかに広過ぎないか。パーツの人が縦の寸法が2人以上入るような大きさになっている。実際には大人2人分の高さではない。プラス、ボックスカルバート据付のコンクリートがむき出しだが、天井が少し多分出る。配電関係で少し下がる。そうするとさらに圧迫されるような気がする。
事務局	・当初だが、木質の天井も考えたので、そうすると少し3mの高さの内寸が落とすという話だったが、今はこういった設えをする中で、直接ボックスカルバートに塗装をして仕上げていこうという方向に、変わつていて、中の内壁の方は少しふかしてしまふが、高さはある程度、もちろん配線とかも出てくるが、大きく下がるということはないように、圧迫感がないような設えにしようという形で、進めている。ただこのCGの方はあくまでもイメージで…。
部会長	・イメージでも結構なズレになる。
事務局	・確かに言われる通り、大きく過大に見せている可能性はある。
部会長	・現場に見学に行かないかと言っているのは、スケール感のズレってすごく感

	じるところで、多分行けばこのくらいの狭さなんだというのは分かると思う。だから僕は現場に行った方がいいのではないかとこの中で再三言っている。写真で見ると全然…。
事務局 部会長	・それは全然現場と肌感は違ってくると思う。 ・僕はデジタルサイネージはいいと思うが、両側になるとすごく眩しくてうるさいのではないかと考えた。これより多分狭い。
事務局 部会長	・②の写真を見ると大体横の間隔が分かる。 ・だからこの両側に電光掲示板がついているのを想像してみるとうるさい。この人が立っている両側にデジタルサイネージがあると思っている。多分横幅も狭まるし、天井も低いと思う。全然サイネージ的には僕はいいかなと思うが、コンテンツ作りが結構大変かなと思う。デジタルサイネージが新しい記念館の方にそういうディスプレイで独立型のものがあるが、本当にこれだけお金を出して、これしかできないのかというくらいがっかりしたというのがあった。相当コンテンツを作るのは大変なのだろうと思う。例えばどれだけ学校でできるのか分からないが、市内の企業の CM とか広告とかを流して、協賛金を得るとか、そうすることで勝山にこういう企業があるとか、そういう専門的に使いながら活用していくのはいいのではないかと考えた。つまり言いたいのは学校のコンテンツだけで常に 365 日そこを回していくのはかなり初めはすごいと思う。初めは「おー」と言ってくれるが、12 月ぐらいになったら、みんな多分見てもらえない状況になるのではないかと考えた。そのあたり、システムはいろいろできるとは思う。結構、中学生とか高校生とかも、動画とかが投稿できるぐらい、自分たちで動画を作ったりするので、やる期間を設けたりとか、そういうのがあっても盛り上がるかもしれない。少ししゃべりすぎた。他に意見はどうか。
委員 28	・職員室でも安全管理システムでと書いてあるが、カメラはどのぐらいつく予定なのか。
事務局	・地下横断歩道だが、今は横断歩道の中は 4 台程度で、階段を上ったところでも 3 台程度で、広角のカメラを設置して、死角がないようにしていくので、そういった形で、監視カメラを設置していきたいと考えている。
委員 29	・実際管理される方は、新中学校で決まるのか。管理システムをどうやってだれが見ていくのか。
事務局	・職員室でみんなが見えるような感じでモニターが上にあってというイメージだったと思う。
委員 30	・誰も見ていないかもしれない。
事務局	・どちらかという、人がいない時とかに、本当に中に変な人が入っていないとか、ないと思うが、自動ドアのロックもかけるので、クマが入ったりとか、本当に中に誰もいないという確認で使うというところもあるとは思う。多分人がずうっと行っているところを見ている必要はない。
委員 31	・以前 1 年ぐらい前の地下通路のイメージ図というのは木目で、このデジタルサイネージも連なってあるのではなくて、点々であったものを見ていた時には、いいと思っていたが、こういうふうに並んでいると、言われたようにうるさいかな。少し間、間があるから見やすい。目にも優しいということもあるのかなと思った。打ちっぱなしの状態ではこれはいくのか。

事務局	・この区間だけになる。12m の両側が出るだけで全長は 30 何 m もあるので、全てにサイネージが映っているわけではない形になる。
委員 32	・ただ、映っているものの間に、少し区切りがあった方が優しい。これでは目が疲れてしまう。
事務局	・その辺、先生からもコンテンツの話もあったので、生徒さんたちが発表できるいろんなコンテンツとか、様々な可能性を考えながらも、うるさくないような形にはしていきたい。
委員 33	・コンテンツを作らなくてはいけないという状況は苦しいと思う。実は昨年、人数の関係もあって、なかなか職員室には揃わないということで、職員室のモニター内にその日の予定とか全て映し出す。こういうことを注意してほしいという流す運用を始めたが、結局教頭先生が作らなくてはいけなくて途中で続かなくなった。いろんな活用の仕方を考えればいいのかと思うので、こういうのは面白い。もちろん、一日一回もここを通らないという子もいると思うので、ここに重要な情報を流すことはできないと思う。昭和町から来て、昭和町へ帰る子でジオに行く用事がなければ。何か楽しいようになるとか、広告を流すのはいいかなと思う。そういうのを流して、子ども達に「見た」と聞いてみるのも面白いかな。子ども達が普段活躍している様子の写真だけを流すのだったら、それなりに簡単に、それはずっとうちの学校で続けてはいる。小さいモニターを玄関に置いて、興味ある子は「映っている」とか言って見ているが、運用の仕方ですらいろいろできると思う。
部会長	・映すところの壁はコンクリートの素地ではなくて、塗装か何かか。
事務局	・はい、白系の塗装で見れるようにする。
部会長	・本当に思いつきで申し訳ないが、監視カメラの映像を流しておくというのはできるのか。
事務局	・多分情報のラインが違うと思うのでそこは難しい。ただいろんな可能性を検討している。
部会長	・犯罪防止になるかなと思う。常に見られている。
委員 34	・予想されることで、中学生の心理としては、上からぶら下がっているものにパンチをしたい。これだけ広かったり走れたりするとプロジェクターにパンチをするかもしれない。私はそこが一番心配なので、ガードをするとか。どこまで行けるかぐらいやと思う。
事務局	・多分、届かない。3m 少しから出ているので、バレーのネットは一般だと 2m43cm だろう。
事務局	・内空が 3m で、そこから設えで少し下がるぐらいになる。
部会長	・メンバーの 40～50cm ぐらいではないか、一番下まで。
委員 35	・あらゆる危険は考えておかないと。
事務局	・3m を切っている。仕上げの床があるので、そこら辺はいろいろある。 (備品精査について)
部会長	・確認をお願いします。では、次の議題に移ってもよろしいか。他に関してあれば、最後のその他の方で意見をいただければと思う。備品の精査の方に議題を移したいと思う。事務局の方、よろしくお願いします。
事務局	・資料 5 をご覧いただきたい。第 1 回目の準備委員会でも出した資料だが、そこから少し変わった点というか進捗で進んだことを言わせていただく。三つ

の大きな棟というかそういったものがあって作業をしていく。その中で太字になっているところになる。本の精査は終了して、さらにそこに中学校と高校が同時に入力できるシステム、どんなシステムを入れようかという打合せが終了した。それで下の方になるが、夏休み中の7月24日に北部中学校、それから7月27日に南部中学校から、半分にいただいた精査した本を中部中学校に集めさせていただく。そしてこの新システムに登録していただく作業を市立図書館を中心をお願いをしてある。一方でここに書いてあるが、三番目備品台帳との整合を完了と書いてあるが、持っていくものを台帳と付き合やす作業を、ある先生が中心になってしていただき、3中学校分は今のところ台帳の整合が完了したということになっている。それで各中学校では、この夏休み中に備品の整理をする。授業があるので、全て持っていくわけではない。その整頓を職員作業でしていただくことになっている。それからピアノの移動ということで、もちろん勝高にもピアノはあるが、3中学校にもピアノがある。音楽室は共用になっているので、どのピアノを持って行ったら一番いいかということ勝高と話をさせていただいて、打合せは終了している。県と移動に関してはいろいろ打合せを進めているところである。下のスケジュールを見ていただくと、今は7、8月のところを言ったが、勝高の特別教室棟のリニューアル工事の方が先に終わる。11月の中旬に終わる。そうすると勝高は12月からできれば早く授業をしたいということを考えておられるので、共有で使う部分のところについての備品をできるだけ早く持っていきたい。全部を持っていったら中学校の授業もできないので、運べるものから動かしていくということになる。別途技術室に関しては、中学校専用だが、いろいろ機械の設置とか、稼働までに少し時間が必要なので、技術の先生と今やり取りをしている。ピアノも持っていけたら持っていく。主に家庭科、音楽、美術関係になる。それから理科はこれも中学校専用になるが、持っていけるものと持っていけないものがあるので、精査して持っていきたいということである。特別教室棟への移設が、2学期の末に1回ある。そして、今度は本体になるが、いろいろな諸室のものを、梱包してから、3月中に持っていくという先ほどの工期終了の話もあったが、できるだけ事前に持っていけるものがあれば、徐々に持っていきたいということを考えている。3月の日程が非常にタイトだが、皆さんの協力を得ながら、新調するものは業者が納めたり、大きなものはこちらから業者をお願いして持っていくが、できるだけ先生方にも負担がかからないように頑張って持っていきたいと思っている。まだまだ、細かい部分になると詰めていないので、今後詰めていきたいと思っている。以上になる。

事務局 ・付け加えをよろしいか。一番上のところに備品精査の概要で新調備品、新中学校校舎と書いてあるところの、普通教室等々と図書室等々の机とかあるが、こちらの方は既に入札が終わっていて、机椅子や職員室の机椅子、キャビネット等はもう業者が決まっていて、しっかり押さえてあるので、3月に入らないということはない。今説明があったのは学校に今あるもので使っていくものの精査をして持っていくということで、新調するものについては、大体入札はして、発注は終わっている。以上になる。

部会長 ・備品に対して何か意見、質問はどうか。

委員 1	・備品についていうと、その他の備品について、③P T Aと書いてあるのでこの点について、何か教えていただくことがあればお願いしたい。本当はP T A部会で教えてもらうことかもしれないが。
事務局	・学校にはたくさんの備品があつて、備品台帳にも市で購入したものもあれば、寄贈を受けたものもある。そういった意味のものになる。それはやはり精査していかないといけない。P T A部会で出た話は、敷地内に残っている記念碑とかモニュメント、もっと細かく言うと記念樹とかいろいろあるが、それに関しては市に一任するという形で、先日一筆いただいたということである。
委員 2	・③の下に校長会、教頭会、事務部会と相談しながら行うということで、P T Aのものについては、グラウンドの以外のものもあると思っていっているのか。この相談しながら行う中にP T Aは入らないのか。
事務局	・P T Aからいただいたものになっているだけで、寄贈というのはいろいろな方からいただいたりしている。
委員 3	・了解した。
委員 4	・書面のこの資料の確認だが、生徒の椅子については、一学年分しか入らないというふうに聞いているが、それが明記されていないような気がする。
事務局	・今言われたように、一学年分しか入札で入れていないので、二学年分は持っていかなければならない。
委員 5	・椅子については段階的に新しくしていただけるのか。
事務局	・要するに一学年分だけ買っていただけることになったが、あとは使えるものを持って行くということになっている。
事務局	・椅子とかについては、順次入れ替えている。ただ机については今回、机自体が大きくなるので、全員入れ替えになる。タブレットを置くようになるので、中学校の机は今よりも少し大きいものが入る。それで全学年変わるが、椅子については今までも入れ替えていたということもあるので、二学年分は持ってきていただいて、一学年分だけは入れ替えるという作業になっている。
部会長	・他によろしいか。
委員 6	・机だが、特別支援学級の生徒の机は、考えると交流学級にも机があるが、特別支援学級の机が大きくなっているのか。二つカウントしているのか。交流という時間もある。
事務局	・それは一人一つしか机はない。特別支援学級の机は従来のものを持っていくということになる。
委員 7	・学習している時間が長いのはそちらの教室だ。
事務局	・個人によって違うが、今は二つの机はない。
委員 8	・備品は現場仕事のつかうのか、これ足りないと言って持ってくるのかが生じると思う。
事務局	・基本的には各中学校がすぐなくなるわけではないので、そこに置いておけば、これを持ってくるのを忘れたというのは、後で持って来れる。そこら辺は臨機応変にできる。
部会長	・持ち込みとかがすごく先生方の負担になると思う。申し訳ないがいろいろと先生方に指導というか連絡をお願いしたい。

(学校の歴史等の継承について)

部会長	・では、次の議題の方に移らせていただく。学校の歴史等の継承についての説明をお願いします。
事務局	・資料はない。前々から学校のいろいろなものの中で歴史的なものがあるという話だった。それに関しては、やはり専門の方に見ていただかないとなかなか難しいものがあるということで、ちょうど7月24日と27日に合わせて、その専門の方に見ていただいて、これはぜひというものをマーキングしていただく。その後、ある期間持っていかれて、作業的なことも必要になってくる。この時には南部から中部とか北部から中部へ動くので、一緒に動いていただければ、要するに3中とも見られるということになっている。少し時間がかかるため、専門の方にまずは見ていただくということになっている。
部会長	・これについて意見とか質問とかはあるか。専門の方が順次、南部、中部、北部とかを回ってそこに置いてあるものを自分で見てやるということか。1ヶ所に集めておかなくてもいいということか。
事務局	・1箇所に集めておかなくていい。
部会長	・学校側としては特に準備することはないということか。
事務局	・そういうことになる。
委員1	・専門家の人にマーキングしてもらって、その後はどうなるのか。マーキングしてもらったものをどこかに持っていくのか。
事務局	・要するにこれは貴重であるから捨てないでということで、やはり時間がかかるので、順次、そういう作業をしていく。市の商工文化課とも絡む作業になってくる。貴重なものなので、大事に扱いながらという作業になると思う。
委員2	・新中学校の方には特に持っていくとか、保管場所はまた別の場所ということでよかったのか。
事務局	・まだ新中のここに置くとか、そういうことは決まっていない。それはまた別の議論になってくるので、とりあえず今は、歴史的価値のあるものを見ていただくということになっている。
部会長	・他に何か意見はあるか。思いつきの一言だが、そういう歴史的な価値のあるものとか、学校の廃棄するものとかも、写真に撮っておいて、そのデジタルサイネージに流すというのもありかなと思った。昔のことを伝えるという意味で。今の中学校のことも伝えつつ、昔はこういう生活だったねということも伝えてもいいのかと思った。
(その他)	
部会長	・その他の議論の方に移りたいと思う。その他の議題として、事務局から何かあるか。
事務局	・進捗をお伝えするということで、参考資料が付いているかと思う。これは今、勝高の野球部が長山公園グラウンドを使用しているということなので、いろいろ野球部の考えとか要望もあって、順次対応してきている状況を簡単に説明させていただく。ページ数が1からあるがご覧いただきたい。色で少し分けてあるが、ずっとやってきていて、緑色の部分が今年度やっているものである。7月設置と書いてある14番だが、これはグラウンドに水を撒くためのタンクを二つ買う。そして小型ポンプも買って、水を撒けるようにする。他の団体の皆さんが使う場所でもあり、非常にここは乾燥する場所になる。散水栓もあるが、ちょっと水量が足りないということもあって、こ

のタンクを買っていただいている。いつ設置するかという相談に今後なると
 思う。それからトンボも購入した。またブルペンの土を少し補充して、整備
 関係で原材料支給費を見積もっている。それから下の方の16番だが、もう
 見られた方もいるかもしれないが、グラウンドへの坂道を今舗装をしている
 最中になる。非常の際の避難場所のルートにもなるということで、できるだ
 け早く避難できるように、ここの坂道の舗装に取りかかっている。これが今
 の状況になる。次の2ページは今までしてきたことを写真で示してある。3
 ページも同様である。これはスピーカー等も直っているの、マネージャー
 の子が音楽をかけて、クマなども対応しているようになっている。それから
 散歩される方もいるということで、注意看板も設置してある。それから、バ
 ッティングゲージは北部中学校にあったものだが、了解を得て、こちらへ移
 設して練習等に使っていただいている。どうしても最後に天井ネットがあ
 る。つまりロストボールとして出ていくので、天井ネットが何とかならない
 かということだったが、ここはあくまでも公共の施設で皆さんが共有して使
 っておられる。それをする、試合とかいろんなことに影響するということ
 で、4ページを見ていただくと、他の学校さんの天井ネットを見てきたが、
 ここはむしろ専用グラウンドで、近隣の住民というか住宅へ飛んでいくのを
 防止するためということもあって、こういうネットがついている。これを実
 際に長山グラウンドにつけるとなると、見積もっていただいたが、かなりの
 費用がかかる。それに工事をするとなるとその期間中は一切何もできない。
 例えばこの屋根付きゲージとあるが、大きいのは組める。でも組んだ場合に
 これはどこに置くのかという話になる。それから台風などになった時にちょ
 っと危険ではないかという話もある。こういう話を差し上げて、一応今の対
 策としては、現在あるバックネットの裏に草が生えているが、その草刈りを
 深めに奥までしていただいて、できるだけロストボール発見に努めていただ
 くということで、了解を得ている。春先に話をしてきた。現在はこういう状
 況だということである。以上になる。

- | | |
|-----|--|
| 部会長 | ・何かこれについての質問とか意見とかはあるか。 |
| 委員1 | ・施設部会自体初めてなのだが、勝高の野球部からの何か要望があつての経緯があつたということでもいいのか。 |
| 事務局 | ・昨年度の準備委員会でも最終にはこんな話も出ている。勝高のグラウンドでずっと練習をしていたが、やはりどこかへ行かないと、今の工事中の時でも練習ができないので、この長山グラウンドへ上がってもいいでしょうということの了解を得て、ここに上がっていただいている。ただこういうところを何とかしていただけないかという要望もあって、できるだけ、それは皆さんにも共通するということとさせていただいているということである。 |
| 部会長 | ・報告をありがとうございます。確認なのだが、天井ネットはずっと言われていることだが、一応了解をもらったということか。 |
| 事務局 | ・現時点では勝山高校と相談しながらできることから取り組むということになっている。 |
| 部会長 | ・その他、全体を通じて何か意見とか質問とかはどうか。大丈夫か。ではそろそろ終了したいと思う。次回の施設整備部会については、いつ頃ぐらいになるのか。 |

- | | |
|-----|---|
| 事務局 | ・一応この備品が2学期末に動くので、そこら辺りになるかなという気はしている。 |
| 部会長 | ・11月過ぎになるか、その辺りには多分内装の方になっている。では事務局の方に司会を返したいと思う。 |
| 事務局 | ・ありがとうございました。本日いただいた意見は、精査して準備委員会に報告をさせていただきたいと思う。それでは以上で第1回施設整備部会を終了する。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。 |

資料1. 新中学校校舎等建設工事について

資料2. 地下横断歩道建設工事について

資料3. デジタルサイネージについて

資料4. マイナンバーカードについて

資料5. 備品精査について（案）